

COLUMN: 先生紹介 ▶ 平岡 あや乃 (今福教室)



はじめまして。平岡あや乃と申します。

私は学生時代、家庭教師や学習塾の非常勤講師をしていました。一旦は一般企業に就業いたしましたが、この度ご縁をいただき、開智総合学院に正社員としてお世話になる運びとなりました。

非常勤講師を務めていたときは、自身の経験を活かし、中学入試の対策を主に担当しておりました。私が受験生の立場であったときには自覚していなかったのですが、講師をしていると、生徒達は皆、極度の緊張状態で毎日をご過ごしていることに気がきます。それは小学6年生、中学3年生、高校3年生だけではなく、全ての学年の皆様には当てはまります。

家族の期待に応えるために、自分の夢を叶えるために、彼ら彼女らは貴重な青春を勉強に費やしています。勉強をする、学校へ行く、塾へ通う。そのなんでもないような日常が、生徒達にとっては、緊張の連続です。しかしその緊張に時々綻びが出て、友人と喧嘩をしたり、成績が伸び悩んだりして、塾のドアを開けることを躊躇してしまう生徒に出逢ったことが何度もありました。家庭教師でお家へ伺ったのに、お部屋のドアを開けていただけないこともありました。開智の生徒達の中にも、学校や塾に行きたくなくて、蹲ってしまった経験をお持ちの方がいらっしゃると思います。

そんなとき、決して責めることなく、笑顔で「こんにちは」と温かく声をかけると、彼ら彼女らはほっと安堵の表情を浮かべて、足を踏み出してくれました。生徒達自身の足で、綻びを乗り越えたのです。その小さな一歩の積み重ねが、生徒達の合格に繋がったのだと思います。

小さな身体で抱える責任や困難を、講師が肩代わりすることはできません。しかし私は、生徒達が壁を乗り越える、後押しになりたいと思っています。

これからどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



Growing

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

April 2019
Vol. 80
毎月10日発行

【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

受験生の皆さん、合格おめでとうございます。 そして、お疲れ様でした。



高木 秀章(塾長)



装で来てください。絶対です。ちなみに、船を移動させて対岸に移動する遊具では、危機一髪でした(写真の場面です)。アラサーにはなりましたが、体は若いと思っていたので、なかなかショックでした…。これからは体動かして鍛えます。…たぶん。



ということで、今回は遠足の下見の様子をお伝えしました。先生も体を張って体験してきましたので、断言します。今年の遠足も間違いなく楽しい! 皆さん、是非楽しみにしておいてください!

小幡の イイ話

TEACHER'S VOICE 小幡 翔太郎 (関目教室)

「秘遠足ウラ話」

こんにちは。4月21日、何の日かご存知でしょうか?……そう!毎年恒例、春の遠足の日ですね。今年は、兵庫県は丹波篠山にある「ユニピアささやま」で、アスレチックまたは釣りを楽しんだ後、グラウンド(広いですよ!)でゲームをし、さらに敷地中に散らばる「杭に書いたクイズ」を探し出して問題に答えるオリエンテーションがある等、盛り沢山な内容になっています。

遠足に先立ち、3月中旬に下見に行きました。今回は遠足の裏話として、下見での様子をお伝えいたします。今回の下見には、塾長、奈穂子先生、カトリーナ先生、そして自称、カトリーナ先生の親友である小幡が参加しました。行きの車の中では英語力向上のため、「日本語禁止」ルールが適用され、まるでグローバル企業にいるかのようでした(笑)。もやがかかってきた時には、カトリーナ先生から

「It's foggy.」と言われましたが、車内のメンバーは「???」。聞くと、「霧がかっている」ことを言うのだそうです。実生活で英語を使っていないと、なかなか知らない表現ですね。ちなみに、実際の遠足でも、バスの中では英語にまつわるゲームが開催されるかも?乞うご期待!

ユニピアささやまに到着してからは「どこで集合・点呼をとるか」「トイレはどこにあるか」等、当日スムーズに進んでいくよう、打ち合わせを行いながら回っていきます。また、今回の目玉の一つであるアスレチックは、私も実際に体験しながら、「ここは難しいから運動が苦手な子はバスOKにしようか」「ここでは先生が下から補助やな」「これなら低学年の子もいけるかな?」と、特に入念にチェックを行いました。感想は「めっちゃハードやけど、めっちゃおもしろい!」。皆さん、必ず汚れてもいい服

- 4月10日(水)~4月27日(土)で中学英検講座を実施します。
- 4月20日(土)は情熱大陸にも出演した、アドベンチャーランナー北田雄夫さんの教育講演会を実施します。是非ご参加ください。
- 4月21日(日)は春の遠足で、ユニピアささやまに行きます。当日はアスレチックや魚釣り、オリエンテーリングを実施します。楽しみにしてください。
- 4月23日(火)は全コース休講日です。ご注意ください。
- 小学診断テストを4月24日(水)に実施します。
- 中3実力診断テストを4月27日(土)に実施します。

カイチからの お知らせ

先月の3月19日。公立高校受験の発表がありました。結果は公立高校134人が合格、トップ10校にも31人が合格、トップ10校合格者数は昨年と比較すると2倍以上になりました。受験生の皆さん、おめでとうございます。そして、受験生を支えた家族の皆様、お疲れ様でした。

今回の成果を支える原動力となったのは、公立の過去問題や予想問題で実施される大予想模試です。これは私立入試終了後から、公立入試直前まで毎週土曜日に実施され、テスト結果と内申点、過去の各公立高校の合格点より、合否判定が予測されます。

生徒達はこの大予想模試の結果から、自分の苦手な単元や問題傾向を分析し、翌週実施される大予想模試に備えます。

毎週結果が突きつけられることで、生徒達は常に厳しい現実と向き合い続けなければなりません。最初はほとんどの生徒が受験校の合格点が取れず、不安と焦りを感じていたことと思います。しかし、そのような気持ちをぐっと抑え、限られた時間の中で、自分には何が足りないのか、また何をすればよいのかを考え、みんなで直前対策を進めました。

今年度のC問題は、国語の難易度が高いのが特徴でした。できる問題を的確に正解する冷静さと、1教科目の国語が思ったよりできなかったという動揺を、次の教科に持ち越さない気持ちの切り替えができたかがポイントであったと思います。また、数学が昨年度より易化したことで、全教科をまんべんなく学習し、ミスの少ない答案を作れた人が合格できるという印象のテストでした。

今年度のカイチ生の合格率の高さは、まさに毎週の大予想模試で5教科を1日で解く経験を繰り返したことによるテストに対する慣れと、

大予想模試対策で各自が行った弱点単元の克服やテスト傾向への対策が功を奏した結果であったと思います。

但し、良いことばかりではなく、今年度も全員合格というわけにはいきませんでした。

皆さんの多くが厳しいクラブと両立しながら、毎月のテストで席替えをされ、宿題を忘れると鬼のように叱られ、小テストに追われる地獄のような夏期講習や冬期講習をやり抜きました。そして、直前の大予想模試の結果が合格点に達しない多くの生徒達が、早い時間から自習に来て、まさに最後の最後まで頑張りました。

カイチは皆さんにとって決してぬるくて優しい塾ではなかったはずですよ。

できれば全員を合格させてあげたかった。不合格だった人は、今は、辛いかも知れない。新たな目標を持つ気力は出ないかも知れない。それでも、顔を上げて新たな一歩を踏み出してください。

無駄な努力など絶対にない。諦めない限り失敗は必ず成功の糧になります。

あなた達は可能性の塊です。あなた達のその一歩が未来を変え、人生を変えていきます。先生達も、皆さんに負けないよう、もっと良い指導、子供達の能力や可能性を引き出し、地域の人達に必要なとされるような塾を目指して努力と工夫を続けていきます。

卒塾しても皆さんはずっとカイチ生です。いつでも遊びに来てください。

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



卒業生から学ぶ、 「考え続ける姿勢」

井上 陽平 (関目教室)

桜が咲き始め、春を感じる季節となりました。関目教室では、受験シーズンが一段落し、新年度がスタートしています。今回は、3年間頑張ってきた卒業生を振り返りながら、新年度を迎え、心を改めて歩みだしている関目教室について書いていこうと思います。

学校での卒業式の後、教室で茶話会を開き、卒業生達と最後の歓談を楽しみました。合格発表前だったこともあり、不安も混じった表情でしたが、一つ大きな肩の荷をおろした様子で概ねスッキリとした顔つきをしていました。本当に大きなイベントを終えた後ではありましたが、スタッフ一同で高校生活や大学入試等の話をしました。大事なことは、良い高校に合格する事だけでなく、その先の進路を悔いのないものにしていくことです。高校入試が終わって油断するのではなく、その高校を卒業した後のことまで視野に入れて考えていってほしいと考えています。

さて、この記事を書いている時には、まさに公立高校の合格発表で一喜一憂しているところです。今年の卒業生は、例年の受験生以上の熱気とストイックさがありました。我々講師陣もいい意味で気を抜けない学年でありました。

彼らの持っていた何よりの強みは、**自分達自身で最も効率の良い勉強法を考え続ける**

姿勢でした。1、2年生から勉強をしていた経験から、どの方法が自分たちにとって良いかある程度確立しており、さらに3年生になって、新たな勉強法を吸収し、常に考え続ける姿勢がありました。そのような姿勢を身に付けた彼らだからこそ、様々な課題を乗り越えられたのだと思います。

対して、今年度の新中3生は、素直で指示をよく聞いてくれる学年です。講師が「こうしていこうな!」と声をかけると、みんなその方向に向かい、一丸となって頑張ります。我々講師にとって、一緒にやっているととても楽しい学年でありますし、努力する姿勢に元気をもらうこともしばしばあります。

卒業生と新中3生の姿勢は、一見すると正反対のように思えます。しかし、その中には、学年としての成長過程が見えているのではないかと考えます。

日本の武道・芸術において、弟子の成長を「守・破・離」と表すことがあります。守とは、師匠の型を忠実に再現し、守る段階。破とは、身についた型を自分なりにアレンジし、改良できる段階。そして、離とは、自分で独自の型を創造することができる段階を言います。

この考え方からすると、指示を素直に聞く新中3生は「守」、クセは強いけれども、常に自分たちで考え、行動していた卒業生達は、

「破」または「離」の段階にあったのではないかと思います。

このように考えると、新中3生達は発展途上の段階にあり、彼らの中に、更なる成長の伸びしろを見出すことができます。私達は、中学部・小学部において、カイチの長い歴史と研究の中で考え抜かれた勉強法を身に付けてもらえるように、必死に指導をしています。しかし、中3になれば、身に付けた「型」をより自分に合ったスタイルにカスタマイズし、常に何が一番効率的かを考え続けることが理想です。それが、中学を卒業し、高校や大学へと進学し、社会で活躍するようになって通用する姿勢なのです。

では、既存の型を破り、新たな型を創造していく段階へレベルアップしていくには、どういったことが必要なのか。それは、自分の努力や勉強法に対してのフィードバックを行い、正しく効果量を評価することです。何事も、頑張りっぱなし、工夫しっぱなしで終わってしまっただけでは意味がありません。何に対して努力したことが成果に繋がったか、あるいは繋がらなかったのかを考えることが、自分にとって最良の勉強法を見つける最も確実な方法です。テストが終わった後は、一旦自らの勉強を見つめ直し、何が自分に合い、成果が出るのかを探していってほしいと思います。



Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



Bright future awaits Kaichi's Talking Kids and Junior High Eiken Students

カイチのトーキングキッズ生と中学英検の生徒達には 明るい未来が待っています

Silvestre Benigno Medelin / シルヴェア・メデリン (Talking Kids / トーキングキッズ・中学英検)

English language has been very important in all aspects. Having English skills does not only give confidence, but most importantly it widens opportunities for successful life in the future. As a matter of fact, it is now the most spoken language and main business language in the world. Thus, it has become a necessity for people to speak English if they are to enter an international workforce. According to study, learning the language at a young age increases the chance of achieving the highest degree of fluency and accuracy which Kaichi truly believes.

Nowadays, the higher the English skills, the greater the chance to be accepted in private and public schools. On the other hand, not having the required English skills lessens the possibility of entering such schools. Kaichi is one of the leading schools in providing good English education through its Talking Kids classes and Junior High Eiken classes. The curriculum is based

on the Eiken grammar context which is necessary to pass Eiken test levels. Students in each class are grouped according to their English level which speeds their progress in learning. Listening, speaking, reading, and writing are taught intensively in each class. Using this system increases the chance of reaching excellent results.

To explain further about Talking Kids and Junior High School students, they always do their best regardless of their busy schedule. The difficulties they face in learning brings out the best in them. They are aware that learning English cannot be done overnight. It is a step by step process towards the achievement of desired English skills. They know that making mistakes is a part of the learning process. Their inner motivation to learn is obviously seen every time they participate in the learning process. They know that learning English is worthy of their time and effort since it can

efficiently learn that it can be done. Listening, speaking, reading, and writing are taught intensively in each class. Using this system increases the chance of reaching excellent results.

To explain further about Talking Kids and Junior High School students, they always do their best regardless of their busy schedule. The difficulties they face in learning brings out the best in them. They are aware that learning English cannot be done overnight. It is a step by step process towards the achievement of desired English skills. They know that making mistakes is a part of the learning process. Their inner motivation to learn is obviously seen every time they participate in the learning process. They know that learning English is worthy of their time and effort since it can

efficiently learn that it can be done. Listening, speaking, reading, and writing are taught intensively in each class. Using this system increases the chance of reaching excellent results.

効率的に学習することが可能です。リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングが各クラスでレベル毎に集中的に指導されます。このシステムで学ぶことで、優れた学習成果を達成する可能性が高まります。

トーキングキッズと中学英検のクラスの様子をお話すると、生徒達は忙しいスケジュールの中、最善を尽くしていると思います。時に、生徒達は学習において難しい問題に直面することもあります。そのような問題が彼らの能力を引き上げてくれます。生徒達は英語を勉強することが一晩ではできないことを知っていますし、それは、希望する英語力の達成に向けた段階的なプロセスです。生徒達は、ミスすることは学習過程の一部であることを知っています。生徒達の中に意欲があることは、授業内の様々なプログラムを行う度、明らかに見られます。生徒達は英語を学ぶことが、将来の多くの機会を生み出し、自分の時間と努力に値することを知っています。

create many opportunities in the future. The passing rate of Kaichi's TK and Junior high students in the recent Eiken test is 82% which has proven the efficiency of Kaichi in providing quality English education. Kaichi English teachers always aim for the betterment of students. It is also an evidence of students' enthusiasm in learning English. I strongly recommend Kaichi as one of the best cram schools in providing quality English education.



最近の英検テストのカイチのTKと中学生の合格率は82%でした。これは、いかにカイチの英語指導の効率が高いかを証明しています。カイチの英語教師は常に生徒達の学力向上を目指します。それは英語を学ぶことに対する学生の熱意の証拠でもあります。私はカイチを質の高い英語教育を提供する最高の塾の一つとして強く推奨します。

